

成果の展開状況のまとめ

育成試験、またはシーズ		成果1(特許化)				成果2(他事業への展開)			成果3(商品化/実用化/起業化)			
年度	課題名、またはシーズ内容	研究者	出願番号	特許の名称	出願人	発明者	事業名	内容	実施機関	分類	内容	企業名
12	金型の微細研削・研磨技術の開発	岩手大学工学部・水野雅裕助教	特願2000-361175	超音波を用いた研磨装置	ミクニアデック、JST	水野雅裕、井山俊郎	H13課題対応技術革新促進事業(F/S)	育成試験での成果を企業に技術移転を図った。商品化のため技術および市場に関する研究調査を実施するものである。	中小企業総合事業団	商品化	企業に技術移転、商品名「Ez Truer」	小林工業(株)
			特願2000-213605	接触放電ツルレーイング・ドレッシング方法およびその装置	JST	水野雅裕						
			特願2001-188638	接触放電ツルレーイング・ドレッシング方法およびその装置	JST	水野雅裕						
12	炭焼き釜エキスパートシステムの開発	岩手大学工学部・齋藤弘教授					H13地域プラットフォーム活動推進事業(F/S)	熟練者の永年の技術・ノウハウに依存していた製炭技術を解析し、可搬式・開閉式で生産性および省力化を図った生産システムを開発した。	経済産業省	商品化	企業に技術移転、商品名「炭焼き名人」	蒲野建設(株)
12	炭化珪素の微細加工に関する研究	東北大学大学院工学研究科・田中秀治助教	平11-317442	炭化珪素微細部品の成形加工方法	JST	田中秀治、江刺正喜	H12~14NEDO産業技術研究助成事業	シリコンモールドに炭化珪素を充填した熱間等加圧法を用いた新たな焼結法により、直径5mmのマイクロタービンロータを作成した。	NEDO			
13	機能性セラミックスの微細加工の応用に関する研究	東北大学大学院工学研究科・江刺正喜教授					H13新規事業志向型研究開発成果展開事業(プレベンチャー事業)	半導体微細加工技術を発展させたマイクロマシン技術を用いて、生物のように柔軟かつ複雑な動きをするチューブ状能動機構の実用化、伸縮機構を多数並べることでコンピュータからの文字情報を次々に点字として表示する視覚障害用機器の実用化を目指す。	科学技術振興事業団			
12	ワイヤーカット放電加工機用金型の腐食防止方法	岩手大学工学部・八代仁助教	特願2001-102422	水中での鉄系金属の防食方法	JST	八代仁				商品化	企業に技術移転	小林工業(株)
13	金型の防食技術の開発										商品名 金型防食保管装置「Ez プロテクター」 商品名 ワイヤー放電加工機用防錆水変換システム「サビーナ」	
13	新しい赤外分光分析法の開発とその応用	一関工業高等専門学校・貝原巳樹雄教授	特願2001-161682	石炭分析試験値の推定方法及びその装置	JST	貝原巳樹雄	H16~17(社)日本鉄鋼協会「鉄鋼研究振興助成」	RSP育成試験で得られた成果が評価され、石炭の分析情報解析研究課題として採択された。平成16、17年度で継続研究予定である。	日本鉄鋼協会			
14	大型超精密加工面形状計測のための高精度2次元角度センサに関する研究	東北大学大学院工学研究科・高 偉助教授					H15地域新規産業創造技術開発費補助事業	大型超精密加工面形状計測のための高精度角度センサーである。企業に於いて、試作まで行ったが実用化には至らなかった。現在、他の実用化希望企業に技術移転中であり、商品化の予定である。	経済産業省			
14	「熱電材料・素子の新しい作成法の開発及び熱電特性の評価」	千葉大学工学部・広橋光治教授	特願2003-127380	金属酸化物半導体の製造方法、金属酸化物の製造装置及び金属酸化物半導体	千葉大学	広橋光治、魯云						
14	耐熱性エポキシ樹脂の実用化	千葉大学工学部・阿久津文彦教授	特願2003-290635 特願2004-148422	耐熱性エポキシ硬化剤 キノキサリン環を有するエポキシ樹脂硬化剤	千葉大学 千葉大学	阿久津文彦 阿久津文彦						
16	遠心力を利用した向流クロマトグラフの開発	岩手大学人文社会科学部・北爪英一教授	特願2004-134057	高速向流クロマトグラフ装置およびそれを用いた分析法	JST	北爪英一						
12	大規模森林景観のリアルタイムレンダリング法の開発	岩手大学工学部・千葉則茂教授								商品化	企業に技術移転、商品名「デジタルランドスケープ」	(株)JFP

育成試験、またはシーズ			成果1(特許化)				成果2(他事業への展開)			成果3(商品化/実用化/起業化)		
年度	課題名、またはシーズ内容	研究者	出願番号	特許の名称	出願人	発明者	事業名	内容	実施機関	分類	内容	企業名
12	育成試験 次世代インターネット・セキュリ ティ強化装置の開発	岩手大学情報処理 センター・吉田等明 助教授	特願平11- 321444	カオス・ニューラルネットワーク を用いた暗号化システム及び 復号システム	JST	吉田等明、川 村暁、三浦守	H16夢県土いわて戦略的 研究推進事業	生体認識と情報秘匿技術を組合せる ことにより、完全に近い安全性と高速 性を合わせ持つ、「セキュリティ保護シ ステム」を実現させる次世代ブロード バンドに対応した技術である。これに より、デジタル情報の盗難や改竄を 防ぐシステムを開発する。	岩手県			
			特願2001- 272113	カオス・ニューラルネットワーク を用いた乱数生成システム	JST	吉田等明、川 村暁、西村 聡、三浦守						
12	育成試験 3次元ポリウムデータの処理 の開発	岩手県立大学ソフト ウェア情報学部・土 井章男教授	特願2002- 004782	画像処理方法および装置	JST	土井章男	H13課題対応技術革新 促進事業(F/S)	医療用3次元ポリウム画像処理ソフト ウェアの製品化を目指す。	中小企業総合 事業団	商品化	商品名「Volume Extractor」	(有)ピューテック エンジニアリン グ
			特願2002- 111398	3次元特徴領域抽出方法	JST	土井章男	H13いわて産業振興セン ター研究開発支援事業	3次元画像からの形状データの抽出、 3次元医療画像及び抽出された形状 データのリアルタイムな高精度表示、 抽出された形状データの精度の高い リアルな変形操作の機能を有し、更に その3次元画像データベースも構築す る。	いわて産業 振興センター	起業化	ベンチャー企業設立	
			特願2002- 128748	画像データ圧縮処理方法およ び画像処理装置	JST	土井章男	H14～15JST研究成果最 適移転事業(プログラムB:独 創モデル化)	ノートブックなどのパーソナルコン ピュータ上で、初心者でも簡単に使用 できる医療用3次元ポリウム画像処 理ソフトウェアを開発する。	科学技術振興 事業団			
13	育成試験 高品質酸化物薄膜用基板の開 発	岩手大学工学部・道 上修教授	特願2001- 257510	酸化物超伝導体の保護方法	JST	道上修	H14地域活性化創造技 術研究開発事業	スパッタ法による大型酸化物超伝導 薄膜を形成するためのターゲットの製 作及び超伝導薄膜形成後の評価結果 から、最適なターゲット作製上の知見 を得た。	経済産業省	起業化	ベンチャー企業設立	(有)鬼沢ファイ ンプロダクト
			特願2002- 346620	マルチターゲット・スパッタ装 置	JST	道上修		H16さんりく基金(ニーズ 対応型共同研究)	単結晶サファイヤ基板を用いた超伝 導薄膜形成の知見から、(株)遠野精 器より依頼を受け、サファイヤ基板の 加工精度と歩留まりの現状を調査し、 生産性の向上を図った。また、サファ イヤ基板への付加価値向上を図るた めの調査を行った。	さんりく基金		
14	育成試験 高性能酸化物薄膜用傾斜材料 の開発	岩手大学工学部・道 上修教授	特願2002- 216643	サファイヤ基板へのパフファ層 付き酸化物超伝導薄膜の製 造方法及び装置	JST	道上修、道 上洋子	H15地域プラットフォーム 活動推進事業(F/S)	考古遺物の実測図作成を、情報工学 の技術を用いて実用化した。平成15 年にベンチャー企業に技術移転を 行ったが、ニーズ把握のため調査依 頼したものである	経済産業省	起業化	ベンチャー企業設立	(株)ラング
16	育成試験 スパッタ法によるナノ制御した ZnO薄膜作製技術の開発		特願2003- 93045	酸化物超伝導薄膜用パフファ 層	JST	道上修、橋 本健男、道上 洋子						
15	育成試験 考古遺物形状のデジタル計測・ 図化システムの開発		特願2003- 116537	酸化物超伝導薄膜装置の製 造方法および酸化物超伝導薄 膜装置	JST	道上修、橋 本健男、道上 洋子						
14	育成試験 考古遺物形状のデジタル計測・ 図化システムの開発	岩手大学工学部・千 葉史助手	特願2004- 63332	実測図作成支援方法	JST	今野晃市、千 葉史				起業化	ベンチャー企業設立	(株)ラング
15	育成試験 効率的な考古遺物の三次元形 状計測手法の開発									商品化	考古遺物形状の デジタル計測・図 化システム	
14	育成試験 ホームページ改竄者捕捉に関す る研究	岩手県立大学ソフト ウェア情報学部・曾 我正和教授	特願2002- 285053	パトロール装置及びパトロー ル方法	JST、曾 我正和	曾我正和、猪 股俊光、西垣 正勝				起業化	ベンチャー企業設立	(有)シグネ
15	育成試験 セキュアプロセッサの開発	岩手県立大学ソフト ウェア情報学部・曾 我正和教授	特願2003- 380114	セキュアプロセッサ	JST	曾我正和、猪 股俊光				商品化	商品名「i-P@trol」	
16	育成試験 ユビキタス認証チップの開発											

育成試験、またはシーズ			成果1(特許化)				成果2(他事業への展開)			成果3(商品化/実用化/起業化)		
年度	課題名、またはシーズ内容	研究者	出願番号	特許の名称	出願人	発明者	事業名	内容	実施機関	分類	内容	企業名
15	育成試験 X線透視像と3次元CT画像を組み合わせた膝関節動作解析システムの開発	千葉大学フロンティアメディカル工学研究センター・羽石秀昭助教 千葉大学医学部附属病院・鈴木昌彦助手	特願2005-029797	画像処理装置及びそれに用いられるプログラム	千葉大学	鈴木昌彦、羽石秀昭、藤田智						
16	育成試験 人工膝関節の術前処置システムの開発											
16	育成試験 高速同定アルゴリズムにおけるJ-ユニタリ変換手法の適用	岩手大学工学部・西山清教授	特願2000-323958 特願2003-291614	システム同定方式 システム推定方法及びプログラム及び記録媒体、システム推定装置	JST JST	西山清 西山清						
16	育成試験 銅電極/LiNbO ₃ 基板上の超広帯域弾性表面波デバイス	千葉大学工学部・橋本研也助教	特願2005-014905	弾性表面波装置	千葉大学	橋本研也						
12	育成試験 脳の血管病変の非侵襲的診断法の開発	岩手大学工学部・安倍正人教授	特願平10-260040	血管の異常診断装置	(株)新興製作所、JST	安倍正人、小川彰、青木錬	H15夢県土いわて戦略的研究推進事業	脳の狭窄部からの振動音の解析により、非侵襲的にかつ費用及び計測時間を含め、低コストで発病前に診断する装置を開発する。	岩手県			
12	育成試験 肺成熟度判定装置(マイクロバブルカウンタ)の開発	岩手医科大学医学部・千田勝一教授	特願2001-5857 特願2002-31740	マイクロバブル作製方法及びその装置 サーファクタント特性測定装置	JST JST	千田勝一、佐々木美香 高橋明雄、千田勝一	H13地域創造技術研究開発費補助事業	本研究は、検査者間のばらつきをなくし、検査標準化を図るために、検査過程を自動化した装置を試作し、商品化を図る。	経済産業省			
12,13	育成試験 循環器疾患の特定化研究	岩手医科大学医学部・中居賢司助教	特願2002-275477	心血管疾患、肥満及び生活習慣病の遺伝的リスクを簡便に判定する方法	中居賢司、JST、日清紡績(株)	中居賢司、幅野渉、中居恵子、守屋彰吾	H15いわて産業振興センター研究開発支援事業	本研究は、個人化医療への導入を目的とする薬物代謝関連遺伝子多型(SNPs)解析のためのDNAアレイをオリゴアレイ法により実現する。	いわて産業振興センター			
14	育成試験 循環器疾患の簡易特定化法に関する研究		特願2003-373077	JST、(株)アイシーエス	中居賢司(岩手医科大学)、野村行憲(株)アイシーエス、佐々木雄久(岩手キューブ)	中居賢司、野村行憲、佐々木雄久						
12	育成試験 「歯科領域における触診圧検出装置の開発試験」	岩手医科大学歯学部・稲葉大輔助教								実用化	歯科領域における触診圧検出装置	長田電気(株)
13	育成試験 次世代準単色X線高分解能透視・撮影システム	岩手医科大学教養部・佐藤英一教授	特願2001-110783	プラズマX線管	JST	佐藤英一	H13JST独創的研究成果共同育成事業	放電により発生するプラズマX線源を収率の高い蛍光線(K系列特性線)に変換する。プラズマを透過した特性線は、増幅され、シンクロトロン約1,000倍の高線量率準単色X線(擬似線レーザー)が発生する。特性線の光子エネルギーは、不純物元素を含めることにより強度を増幅する。本研究では、管電圧を高周波で振動させてコヒーレント化をはかり、特性線の光子エネルギーに対応する数種の装置を製品化する。	科学技術振興事業団	実用化 擬似線レーザー装置 セリウム線装置	トーレック(株)	
14	育成試験 可搬型高性能X線装置の応用に関する研究		特願2001-347096 特願2003-144054	面焦点X線管とポリキャピラリーを用いた単色X線撮影システム 高分解能血管造影方法及びそれに用いる高分解能血管造影用X線管	JST JST	佐藤英一 佐藤英一						

育成試験、またはシーズ			成果1(特許化)				成果2(他事業への展開)			成果3(商品化/実用化/起業化)		
年度	課題名、またはシーズ内容	研究者	出願番号	特許の名称	出願人	発明者	事業名	内容	実施機関	分類	内容	企業名
12	育成試験 手操作電動鉗子による腹腔鏡下縫合システムの開発	岩手大学工学部・島地重幸教授	特願2000-240640	体腔鏡下外科手術操作器の先端負荷力の検出方法およびその装置	JST	島地重幸	H14いわて産業振興センター研究開発支援事業	本研究の縫合システムは、糸の刺入は多自由度持針鉗子により容易あり、糸の接合と糸の切断動作は融接法により容易となる。また、システムが安価である。	いわて産業振興センター			
13	育成試験 融接法による縫合システムの開発		特願2000-340124	外科縫合糸融接器	JST	島地重幸						
			特願2000-396881	多重巻たわみ軸継手及びそれを使用した外科手術用器具	JST	島地重幸						
			特願2001-57616	持針鉗子	JST	島地重幸						
			特願2001-238893	体腔鏡下外科手術操作器の先端負荷力の検出方法およびその装置	JST	島地重幸						
15	育成試験 新エンドトキシン組合せ定量法による敗血症の重症度判定法の開発	岩手医科大学医学部・遠藤重厚教授		血漿白血球エンドトキシン定量法	JST、リムロイドサイエンス	遠藤重厚、八重樫泰法、稲田捷也				起業化	ベンチャー企業設立	(株)リムロイドサイエンス
16	育成試験 くも膜下出血の診断支援システムの開発	岩手県立大学ソフトウェア情報学部・土井章男教授	特願2004-229435	脳内出血/くも膜下出血診断支援システム	JST	土井章男、井上敬						
16	育成試験 浮遊細胞培養技術を用いるウィルスワクチンの作製	岩手医科大学医学部・佐藤成大教授	特願2003-316212	プロテアーゼを用いた浮遊細胞培養技術	JST	佐藤成大						
12	育成試験 雑穀の食品機能性研究と新食品開発	岩手大学農学部・西澤直行教授	特願2000-147044	血液中の脂質濃度を低下させ酸化機能を有するモロコシの抽出物	西澤直行	西澤直行				起業化	ベンチャー企業設立	(有)いわて西澤商店
13	育成試験 雑穀の食品機能性の解明と健康食品の開発		特願2001-246189	生理活性キビタンパク質加水分解組成物	JST	長澤孝志、西澤直行、伊藤芳明、貴戸武利				商品化	雑穀パン、高キビほっぺ、へっちょこだんご	
12	育成試験 麻痺性貝毒の簡易測定法の開発	北里大学水産学部・児玉正昭教授	特願2001-203454	抗麻痺性貝毒抗体の製法、新規抗体、該抗体を用いるELISA測定キット、該製法による系標識毒標品	JST	児玉正昭、佐藤繁、品川邦汎	H16いわて産業振興センター研究開発支援事業	18種類ある麻痺性貝毒のすべてを同時に測定するために必要な方法を見出したので、測定キットを試作し、実用性を検討する。	岩手県			
15	育成試験 麻痺性貝毒のモノクローナル抗体・測定法の開発	北里大学水産学部・佐藤 繁助教授	特願2004-286561	麻痺性貝毒成分の変換方法	JST	児玉正昭、佐藤繁						
13	育成試験 昆虫機能物質の解明とその利用	岩手大学農学部・鈴木幸一教授	特願2003-338665	ローヤルゼリーペプチド及びこれを含む組成物	JST	鈴木幸一、酒井雅人	H15夢県土いわて戦略的研究推進事業	平成13,14年度育成試験の研究結果を基に、ローヤルゼリーから新規低分子物質を同定し、免疫賦活栄養素材への導入を図るほか、ミツバチプロポリスから抗がん物質を同定し、医薬品候補物質を開発している。	岩手県			
14	育成試験 昆虫機能物質の解明・権利化と利用											
13,14	育成試験 ウシの超早期妊娠因子の簡易測定法の開発	岩手大学農学部・松原和衛助教授					H15いわて産業振興センター研究開発支援事業	ウシの超早期妊娠因子を含む血清からモノクローナル抗体を作成し、妊娠の成否を早期に検査するためのキットを開発することを目指している。	いわて産業振興センター			
14	育成試験 サケの未利用部位を活用するエゾアワビの成長促進技術の開発	北里大学水産学部・森山俊介助教授	特願2003-335151	海洋無脊椎動物用飼料	JST	森山俊介、川内浩司、田代勝男						
15	育成試験 サケの未利用部位を有効活用するエゾアワビの高品質化・陸上養殖技術の開発											

育成試験、またはシーズ			成果1(特許化)				成果2(他事業への展開)			成果3(商品化/実用化/起業化)		
年度	課題名、またはシーズ内容	研究者	出願番号	特許の名称	出願人	発明者	事業名	内容	実施機関	分類	内容	企業名
14	育成試験 魚類の脳下垂体系ホルモンと食欲・成長との関連の解明・利用	北里大学水産学部・高橋明義助教	特願2003-93923	水槽飼育における魚類の肥育促進法	JST	山野目健、高橋明義、天野勝文	H15夢県土いわて戦略的研究推進事業	マツカワ、ヒラメを対象として、魚に本来備わっている環境に応じたホルモン分泌機能を発揮させることにより、陸上養殖を効率的に行なう技術を開発する。	岩手県			
15	育成試験 冷水性高級魚マツカワの肥育技術の開発											
12	育成試験 産業廃棄物の建設材料への利用化研究	岩手大学工学部・藤原忠司教授	特願2000-090811	廃棄物を用いたコンクリート組成物	藤原忠司、岩手県、江東	藤原忠司、佐々木秀幸、江東	H14地域新生コンソーシアム研究開発事業	肥料工場から排出されるフッ化カルシウム汚泥をポーラスコンクリートおよび高流動コンクリートの増粘剤として利用するものである。	経済産業省	商品化	企業に技術移転 商品名 フッ化カルシウム入りコンクリート製品	セイナン工業(株)
13	育成試験 コンクリート及びアスファルト混合物への無機系産業廃棄物の利用化研究	岩手県工業技術センター・佐々木秀幸上席専門研究員										
13	育成試験 木材の温泉水前処理に基づく活性化木炭の開発	岩手大学工学部・成田榮一教授					H14,15岩手県緊急地域人活用型実用化技術開発事業	廃コンクリート木枠のリサイクルとして、活性化された木炭にする技術開発である。	岩手県	実用化	廃棄コンクリート型 枠合板からの高吸着性炭化物の製造	(株)小松組
14	育成試験 金属スクラップからの有価金属の分離・回収	岩手大学工学部・山口勉功助教	特願2002-244446 特願2002-276348	銅鉄混在スクラップからの銅と鉄の分離、貴金属の回収方法 鉄系焼却灰残渣からの貴金属の分離、回収方法	JST JST	山口勉功、武田要一 山口勉功、武田要一						
15	育成試験 維持管理不要な溪流魚道構造の開発	岩手大学農学部・石井正典教授					H16 いわて産業振興センター研究開発支援事業	平成15年度RSP育成試験で残された課題を検討した。南東北に普及させる目的で実証施工・調査等を実施し効果を確認できた。	いわて産業振興センター	起業化 実用化	ベンチャー企業設立 維持管理不要な溪流魚道構造の開発	(有)魚道研究所
16	育成試験 木材を利用した排水中窒素分の微生物除去	東北大学環境保全センター・吉岡敏明助教	特願2004-13490	植物性固体物質を用いた排水中窒素の除去方法	JST	溝口忠昭、吉岡忠昭						